

オーケストラアンサンブル金沢 ラポール ニューイヤー コンサート2026

Orchestra Ensemble Kanazawa
Rapport New Year's Concert 2026
Sunday 11 January 2026, 2pm
Izak Kosugi Bunka Hall Rapport

Junichi Hirokami, Conductor
Kumiko Banno, Mezzo soprano
Takaki Kurihara, Baritone

Shin-ichiro Ikebe : PRAY FOR THE LIGHT -As a Requiem for the
Victims of the Noto Peninsula Earthquake
Felix Mendelssohn : Symphony No. 4 in A Major, Op. 90, "Italian"
Opera & Operetta Arias Collection
Johann Strauss II: Die Fledermaus etc.

池辺晋一郎
祈り、そして光

—能登半島地震犠牲者の鎮魂として

メンデルスゾーン
交響曲 第4番 イ長調 op.90 「イタリア」

シュトラウスII
喜歌劇《こうもり》序曲

モーツァルト
歌劇《フィガロの結婚》より
「恋とはどんなものかしら」*「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」**

カールマン
歌劇《チャールダーシュの女王》より
「ハイヤ、ハイヤ、山こそわが心の故郷」*

ロッシーニ
歌劇《セヴィリアの理髪師》より「私は街の何でも屋」**

モーツァルト
歌劇《ドン・ジョバンニ》より「お手をどうぞ」*/**

シュトラウスII
ワルツ「美しく青きドナウ」op.314

2026.

1.11 (日) 14:00開演 (13:30開場) アイザック小杉文化ホール ラポール

全席指定(税込) | 一般 4,000円(会員3,600円/当日4,500円) 25歳以下 1,000円(会員900円)

※未就学児入場不可。※都合により内容に変更が生じる場合がございます。※車イス席はラポールのみの取り扱いです。※会員先行販売期間はラポールのみの取り扱いです。※発売初日(10/11、18)に限り、ラポールの電話受付は13:00～。※当日25歳以下は本人確認書類を提示ください。

[会員先行]10/11(土)10:00～
[一般発売]10/18(土)10:00～
※枚数制限・会員割引 お一人様4枚まで

【プレイガイド】

アイザック小杉文化ホール、高周波文化ホール(新湊中央文化会館)
アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール、高岡文化ホール)
チケットぴあ(Pコード:310-017)、ローソンチケット(Lコード:54689)

主催:(公財)射水市文化振興財団、射水市、(公財)石川県音楽文化振興事業団
後援:射水市教育委員会、北日本新聞社、チューリップテレビ
FMとやま、射水ケーブルネットワーク(株)

特別協賛:



助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

【お問い合わせ】

アイザック小杉文化ホール ラポール 富山県射水市戸破1500
Tel.0766-56-1515 [9:00-17:00]
※毎週火曜(祝日の場合は翌平日)および年末年始(12/29～1/3)を除く。

ラポール初登場
指揮 広上淳一
(OEKアーティストックリーダー)

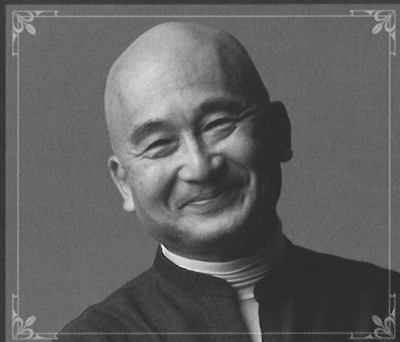
バリトン
** 栗原峻希

メゾソプラノ
* 伴野公三子



オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)とラポールをつなぐ、特別な新年の調べ

歴代のOEK指揮者たちが愛を注いできた「ラポール」の舞台に、ついにOEKアーティスティック・リーダー広上淳一が初登場。そのタクトが導くのは、ふるさとへ捧ぐハーモニー。富山から羽ばたいた歌手、伴野公三子(メゾ・ソプラノ/高岡市)と栗原峻希(バリトン/射水市)とともに、新年に相応しいレパートリーで贈る音楽の祝福をどうぞご堪能ください。



広上 淳一(指揮) Junichi Hirokami, Conductor

尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳でキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝。ノールショピング響、コロネバス響、京都市響等で数々のポストを歴任。コンサートヘボウ管、イスラエル・フィル、ロンドン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへも客演。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、マレーシア・フィル音楽監督、日本フィルフレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。2024年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

伴野公三子(メゾ・ソプラノ) Kumiko Banno, Mezzo soprano

高岡市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業及び同大学別科修了。第1回国際声楽コンクール東京歌曲部門第2位(最高位)及び東京新聞賞受賞。第21回北陸新人登竜門コンサートに出演後、ガルガンチュア音楽祭2025、能登半島地震復興応援コンサートでオーケストラ・アンサンブル金沢と共演。またモーツァルト《戴冠ミサ》、ベートーヴェン《第九》等のアルトソリストを務める。佐々木典子、手嶋真佐子各氏に師事。サントリーホール オペラ・アカデミーを修了し、ジュゼッペ・サルバティニ氏のもとで研鑽を積む。



栗原峻希(バリトン) Takaki Kurihara, Baritone

射水市出身。東京藝術大学院オペラ専攻修了。テアトロ・オペラ・ジョコーザ公演《蝶々夫人》のヤマドリ役でイタリアデビュー。第35回ソレイユ音楽コンクール第二位。第47回イタリア声楽コンクールミラノ大賞(第一位) 授賞。シェリル・ミルズ国際オペラIDOLコンクールにて聴衆賞を受賞。ハンスガボア・ベルヴェデーレ国際オペラコンクールイタリア代表。ライオンズ国際声楽コンクール第三位、ジョヴァンニ・コンシーリオ国際コンクールTIVAA賞受賞、ロベルト・デシモーネ記念声楽コンクール第二位、NHオペラアイドル声楽コンクール第一位。《野村財団》芸術文化助成、文化庁新進芸術家海外派遣生、ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生、サンカルロ歌劇場研修生に選出。

オーケストラ・アンサンブル金沢 Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施。ジュニアの指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組む。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2022年9月より広上淳一がアーティスティック・リーダーを務める。



オーケストラ・アンサンブル金沢公式ホームページ等フォローをお願いします。

